

吉塚商店街振興組合

どんな商店街？

JR吉塚駅そばに位置する商店街です。戦後の闇市に始まり70年の歴史を持つ吉塚商店街ですが、2020年に「外国人居住者との共生」と「商店街の活性化」を目指し、「吉塚市場リトルアジアマーケット」として生まれ変わって誕生しました。現在、様々なコミュニティ団体がここで活動され、多文化共生・共修拠点にもなっています。



テイスト オブ ザ 吉塚リトルアジアマーケット 2024

外国人居住者との共生の実現と新規の集客や空き店舗の募集のために

1. 商店街の課題

70年の歴史を持つ吉塚商店街は、2020年に「外国人居住者との共生」と「商店街の活性化」を目指し、「吉塚市場リトルアジアマーケット」として生まれ変わって誕生しました。最初はメディア等に注目され新しい客が多く来ていたが、コロナ禍で静かになってしまい、閉店になった店舗が多くあることが課題です。

2. 「テイスト オブ ザ 吉塚リトルアジアマーケット 2024」を開催

日本の季節とアジアの国々の行事と合わせたテーマで、①カレーフェスタ ②フォーフェスタ ③冬グルメフェスタ ④旧正月イベントの全4回のフードフェスタを行いました。飲食販売以外にも文化の発表・体験コーナーも設置し、国際交流を促進しました。イベント開催時における安全と安心に行うため、商店街MAPをブラッシュアップし、避難経路などの防災情報を含む店舗紹介チラシを作成し、配布しました。



3. 効果があったと思われること

サリー試着やアオザイパーティ、クッキーを作るクリスマスワークショップなどのプログラムが特に盛り上がりしました。子どもから大人まで沢山の方に来街いただき、来場者数は累計約3,000人でした。



4. 来街者の声・会員さんの声

参加者からは「こんなにも素晴らしい商店街を皆に利用して欲しい」との声をいただきました。参加者満足度95%、会員店舗の満足度85%と非常に高かったです。

5. 反省点や今後の取り組み

アジアの各国の行事に合わせた文化体験プログラムを充実させた旧正月イベントは来場者が多かったため、今後行事に合わせてイベントを開催して行きたいと考えています。来年度は3日間ではなく一週間のイベントを開催したいです。